

最上地域における交通課題	主に該当する市町村
＜新庄市への移動手段が限定的＞ ⇒各町村内でのバス路線、デマンド交通について比較的充実しているものの、町村外への交通利便性が低い。	金山町、舟形町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
＜市町村間を繋ぐ路線バス等のダイヤ接続が悪い＞ ⇒市町村間での路線バスダイヤの調整が不十分。	新庄市、金山町、真室川町、大蔵村、鮭川村
＜物価の高騰、運転手不足＞ ⇒公共交通サービス提供に係る市町村負担が増加。	8市町村
＜新庄市内の拠点間移動が困難＞ ⇒新庄市内の拠点間（特にスーパー等の商業施設へ）の移動が困難であり、新庄病院への通院後に買物をして帰るなどの目的に沿った柔軟な利用がしづらい。	8市町村
＜豪雨災害の影響による鉄道代行バス＞ ⇒複数自治体を繋ぐ幹線である鉄道路線がバス代行輸送となっている。	（陸羽東線）新庄市、最上町、舟形町

地域目標

最上地域別部会による管内の鉄道、バス及びデマンド交通等の整理・分析を通して、生活機能が集積する新庄市を軸とした地域公共交通の利便性向上を図り、市町村域にとらわれない持続可能な公共交通を構築する。

課題解決に向けた対応案等（具体的な施策）

（１）住民の生活や移動ニーズを含めた、より

緻密な地域内公共交通の現状分析

⇒ 鉄道、民間路線バスとの連携も含めた、より利便性の高い持続可能な地域公共交通の実現に向けた現状分析を行う。

（２）管内市町村および民間交通事業者での継

続的な検討・合意形成

⇒ 各市町村域内での運行を中心に設計されているダイヤの見直しや、他市町村（特に新庄市）への移動手段及び新庄市内の拠点間移動の利便性向上を見据え、市町村単位に囚われない公共交通路線・ダイヤ接続等の検討を行う。

スケジュール（イメージ）

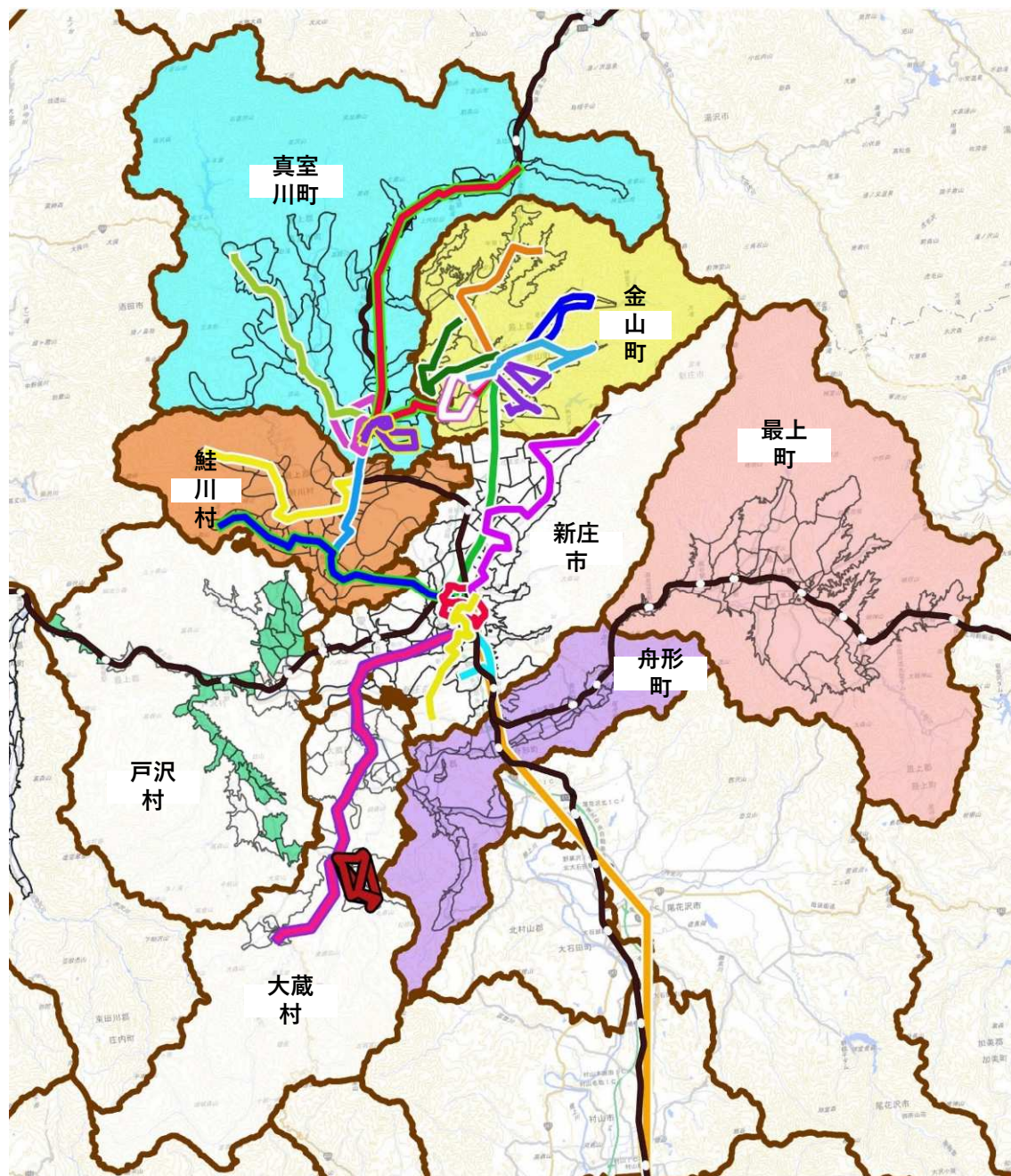
※具体的な内容や進め方等については、引き続き地域別部会の中で協議・検討していく

取組み	年度	次期山形県地域公共交通計画期間						
		次期計画策定に向けた準備	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)
イベント(予定)		・次期県計画策定 ・陸羽西線運行再開	新庄志誠館高校開学	陸羽東線運行再開			新庄志誠館高校校舎移転(R14～)	
■県地域公共交通計画の策定に向けた取組み			次期県計画承認					
・地域目標の検討		内容検討・策定					内容検討・策定 (次々期計画)	
■課題解決に向けた対応案等								
(1)地域内公共交通の現状分析								
・通院+αできる・できない整理シートの作成		照会・集約		照会・集約		照会・集約		
(2)継続的な検討・合意形成			できる・できないシートの整理結果 を踏まえた優先順位付け等					
①交通空白解消・乗り継ぎの円滑化等			ダイヤ・路線の 見直し作業①	ダイヤ・路線の見直し作業②		ダイヤ・路線の見直し作業③		
・各交通機関の運行ダイヤ・路線等見直し								
②地域公共交通の効果的な情報発信								
・最上地域公共交通マップの作成		ダイヤ照会 ・委託手続き	作成作業			随時更新	デジタル化検討	
③将来的な地域公共交通の利用促進		方向性確定・ 予算要求等						
・まちなか循環便の増便			需要調査・ダイヤ路線検討・関係機関との調整等 予算要求等	バス・ ドライバー確保等		増便開始(R10.10頃～)		
・最上スクールバスの運行			需要調査・ダイヤ路線検討・ 関係機関や高校との調整等 予算要求等	バス・ ドライバー確保等		運行開始(R10.4頃～)		

将来の目指す姿

地域内で移動手段を提供している多様な主体の協調による“住民の健康的で質の高い生活の実現”

地域の現状（路線図）



⊕：県立新庄病院

新庄市

まちなか循環線

土内線

芦沢線

真室川町

東循環線

西循環線

高坂線

及位線

金山線

(町内全域デマンド交通)

金山町

有屋線

西郷線

中田線

東郷線

三枝荒屋線

有安線

(町内全域デマンド交通)

大蔵村

肘折温泉－新庄線

土合滝の沢線

鮭川村

日下真室川線

大芦沢豊里駅線

羽根沢・新庄線

(町内全域デマンド交通)
+ 町外デマンド

最上町

(町内全域デマンド交通)

舟形町

(町内全域デマンド交通)
+ 町外デマンド

戸沢村

(市内路線不定期デマンド交通)
やまなみロード線、いきいき百
年の里線

上松坂新庄線、高屋余目線
⇄ 村内 + 村外指定乗降場

山交バス

(高速)新庄－仙台

県立病院－金山

県立病院－専門職大学

(※赤字は市町村域を跨ぐ路線)